

あ と が き

本年度も、県下の会員の先生方のご協力を得て無事に第55号の研究会報を発刊することができ、深く感謝申し上げます。今年度は、新型コロナウイルス感染症がようやく落ち着き、学校生活においても例年通りの活動ができているものと感じております。

さて、今年度は、11月17日（金）に第55回九州中学校社会科教育研究大会が宮崎県で開催されました。「社会について考え続ける主体を育む社会科学習の創造」の大会主題のもと、宮崎県の宮崎市民プラザにて研究授業と研究発表が行われ、「社会について考え続ける主体」とは何かというテーマについて、身近な教材などから多面的・多角的に授業が提案されました。宮崎県の研究部が掲げた「授業実践をする教師が持つ裁量を最大限に保障すること」により、個性が尊重された授業が提案され、各教員が問題意識をもって取り組む姿勢が印象的でした。

また、その大会において本県からは、伊万里市立啓成中学校の田雑拓教諭が「社会に開かれた中学校社会科の学びをめざして～ラーニング・パートナー（LP）との関わりを通して～」というテーマで研究発表をされました。研究協議会では、指導助言者である宮崎大学吉村功太郎教授をはじめ、多くの先生方から高い評価をいただきました。田雑先生、そして伊万里・西松浦支部の先生方、大変お疲れ様でした。佐賀県の研究が着実に進んでいることを改めて実感し、佐賀県中社研の研究に対する、県下の先生方のご理解とご協力に感謝致します。今後も、佐賀県の社会科教育の更なる発展のためにも、ぜひともご協力をよろしくお願いいたします。

来年度は九州中学校社会科教育研究大会が長崎県開催となります。本県からは歴史的分野において小城・多久支部の先生方に発表していただきます。これから小城・多久支部の先生方には発表のためにご尽力していただくこととなりますが、よろしくお願いいたします。

また、来年度は佐賀県中学校社会科教育研究大会が小城・多久地区で開催されます。大会開催のために小城・多久支部の先生方には準備や運営など多大なご協力をいただくこととなりますが宜しくお願い致します。

最後になりましたが、佐賀県中社研の研究推進のために、ご多忙中にもかかわらず、ご指導いただきました佐賀県教育センターの先生方、県下各支部の支部長・理事・研究員の先生方に、深く感謝申し上げます。今後とも、よろしくお願いいたします。

令和6年1月末日

佐賀県中社研事務局長 内田修太郎